

ITU-R Working Party 5B等の会合の概要

気象レーダー作業班事務局

ITU-R Working Party 5A & 5B & 5Cの開催概要

開催期間	2018年5月21日～31日(日曜日を含む10日間)(WP5A) 2018年5月21日～6月1日(日曜日を含む11日間)(WP5B) 2018年5月21日～6月5日(土曜日・日曜日を含む17日間)(WP5C)
開催場所	スイス・ジュネーブ(ITU)
対象会合・ 関連議題	WP5A(IMTを除く陸上移動業務): 議題1.15(275-450 GHzの周波数範囲で運用する 陸上移動業務・固定業務アプリケーションの特定)、議題1.16(5 GHz帯におけるRLANへの 周波数帯の特定)、議題9.1.5(5 GHz帯における規制) WP5B(航空海上移動業務): 改訂勧告草案ITU-R M.1849-1の上程 WP5C(固定業務): 議題1.14(HAPSへの新規周波数特定の検討)、議題1.15

<主な議題と結果概要>

- 議題1.14: 高高度プラットフォーム局により実現される広帯域アプリケーションの利用促進
 - CPM文書が完成
 - 6GHzのHAPSと固定業務の記述に関して、日本提案のpfdマスクが一部修正されて盛り込まれた
- 議題1.15: 275-450GHzの周波数範囲で運用する陸上移動業務及び固定業務アプリケーションの主管庁による使用の特定に向けた研究
 - 固定業務のアプリケーションに関して、WP5Cの勧告に記載されている技術・運用特性を基に共用検討を行うことを要請する旨の返答リエゾン文書がWP1Aに送付された

ITU-R Working Party 5A & 5B & 5Cの開催概要(続き)

<主な議題と審議概要>(続き)

- 議題1.16: 5150-5925MHzの周波数帯における無線LANを含む無線アクセスシステムに関する研究
 - 5150-5250MHzの無線LANの屋外解放に関するCPM文書が完成

- 議題9.1.5: 無線通信規則第5.447F号及び第5.450A号においてITU-R勧告M.1638-1及びM.1849-1を参照することの技術的及び規制上の影響の検討
 - ①今回会合以前に提案されたロシア案、②勧告を引用せずに無線LANと無線測位業務・地球探査衛星業務(能動)・宇宙研究業務(能動)双方が共用できるようにすべきとしたフランス案、③RR変更なし、の3つの案が記載されたCPM文書が完成

- 改訂勧告草案ITU-R M.1849-1(地上用気象レーダーの技術・運用面)の上程提案
 - 前回会合に引き続き、我が国から勧告改訂案への格上げとStudy Group 5(SG5)会合への上程を提案したが、米国はSG 会合が開催される次回会合まで待つて欲しいと再度要請があった
 - 次回会合におけるSG5への上程と、次回会合において大幅な追加や変更が他国より入力された場合、次版以降の改訂とする旨を議長報告に記載した

議題9.1.5

● 背景・経緯

- RR脚注5.447F及び5.450Aにおいて、ITU-R勧告M.1638-0ではなく、M.1638-1及びM.1849-1を引用することの技術的及び規制上の影響の検討
 - 脚注5.447F: 5 250-5 350 MHz帯において、移動業務は、レーダー業務・地球探査衛星業務(能動)・宇宙研究業務(能動)に保護を求めず、これらの業務は、移動業務にITU-R勧告M.1638-0とRS.1632-0のシステム特性と干渉基準より厳しい保護基準を課してはならない。
 - 脚注5.450A: 5 470-5 725 MHz帯において、移動業務は、無線測位業務に保護を求めず、無線測位業務は、移動業務にITU-R勧告M.1638-0のシステム特性と干渉基準より厳しい保護基準を課してはならない。

● 入力文書

文書番号	発出元	概要
5A/547 (前回会合から持越し)	米国	CPM文書の技術面・運用面における検討の章に以下を提案 <ul style="list-style-type: none"> • 脚注5.447Fと5.450Aに勧告M.1638-1を参照することは、M.1638-1から新しく採用されたレーダー業務と移動業務が共用できないため、行われるべきではない。
5A/732	カナダ	CPM文書の概要の章に以下を提案 <ul style="list-style-type: none"> • 脚注5.447Fに勧告M.1638-1を引用することは移動業務に過度な制約を課す。 • 脚注5.447Fに勧告M.1849-1を引用することは移動業務に追加の制約を課す。 • 脚注5.470Aに勧告M.1849-1を引用することは移動業務に追加の制約を課さない。
5A/803	フランス	CPM文書の議題を解決する方法として以下を提案: <ul style="list-style-type: none"> • 両脚注においてITU-R勧告の引用を削除(勧告が更新される度に議題を立て議論する必要がなくなる)。 • 両脚注から、脚注5.43Aは適用されない(移動業務とその他の一次業務を同等に扱う)という記載を追加。

議題9.1.5(続き)

● 審議概要と結果

- CPM文書案が完成
- CPM文書の議題を解決する方法(Approach)に各主管庁による提案を全て記載することが合意

Approach 番号	提案元	概要
A	ロシア	<p>5250-5350MHz帯:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移動業務はレーダー業務・地球探査衛星業務(能動)・宇宙研究業務(能動)に保護を求めてはならない。 • レーダー業務・地球探査衛星業務(能動)・宇宙研究業務(能動)は、移動業務に対して、ITU-R勧告M.1638-0とRS.1632-0に記載されたシステム特性や干渉基準に基づくもの以上の制約を課してはならない。 <p>5470-5725 MHz帯:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移動業務は、無線測位業務に保護を求めてはならない。 • 無線測位業務は移動業務に、勧告M.1638-0とM.1849-1に記載されたシステム特性や干渉基準に基づくもの以上の制約を課してはならない。
B	フランス	<p>5250-5350MHz帯:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移動業務はレーダー業務・地球探査衛星業務(能動)・宇宙研究業務(能動)に保護を求めてはならない。 • 脚注5.43Aは適用されない(移動業務と上記業務を同等に扱う) <p>5470-5725 MHz帯:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移動業務は無線測位業務に保護を求めてはならない。 • 脚注5.43Aは適用されない(移動業務と上記業務を同等に扱う)
C	なし	現在のRRからの変更なし

改訂勧告草案ITU-R M.1849-1の上程提案

● 背景・経緯

- ITU-R勧告M.1849-1は、地上用気象レーダーの技術面(パラメータ等)・運用面を記載
- 2017年5月会合において、我が国から、本勧告に固体素子型気象レーダーのパラメータの追加を提案しており、改訂勧告草案として合意
- 2017年11月会合において、我が国から、改訂勧告案への格上げとStudy Group 5(SG5)会合への上程を提案したが、米国からパラメータを追加で入力したいとの理由により次回会合(今回会合)に延期

● 入力文書

文書番号	提出元	概要
5B/485	米国	5GHz帯マグネトロン式レーダー(2種類)のパラメータの追加を提案
5B/515	日本	改訂勧告草案ITU-R M.1849-1の改訂勧告案への格上げとSG 5会合への上程を提案

● 審議概要(オフライン議論を含む)

- 米国は、改訂勧告M.1849-2となれば、議題9.1.5とは無関係となるはずだが(議題9.1.5が引用しているのは、M.1849-1のため)、日本が以前に入力している固体素子型気象レーダーの利用周波数帯が議題9.1.5の対象周波数帯(5GHz帯)と重複するため、米国国内の無線LANコミュニティを納得させるため、今回会合では格上げと上程は行わず、次回会合まで待つよう要請。
- 我が国から、勧告を承認するSG 5会合は通常年に一回(11月頃)の開催であるため、米国が上程を約束しても、他国から本文書の内容を大幅に変える入力があった場合には、格上げと上程が約束されないという懸念を主張。
- 我が国の意見を踏まえ、次回会合で他国から内容を大幅に変える入力があった場合、その入力内容を反映せずに格上げと上程することを合意し、合意内容を議長報告に記載した。

改訂勧告草案ITU-R M.1849-1の上程提案

● 結論

- 改訂勧告草案ITU-R M.1849-1は、次回2018年11月会合において改訂勧告案に格上げし、SG 5会合に上程することを合意
- 以下の文言を議長報告に記載：
関係主管庁は、次回会合にて、改訂勧告草案ITU-R M.1849-1の改訂を完了させ、改訂勧告案に格上げし、引き続き開催されるSG 5会合に上程することを合意した。関係主管庁はさらに、もし次回会合にて、本文書に大幅な追加や変更が提案された場合は、SG 5会合上程後に改訂することを合意した。

● 今後の対応

- 次回会合においては、確実にSG 5会合に上程されるよう、議長報告の文言も引用しつつ、改訂勧告案への格上げと上程を提案する寄与文書を我が国から入力する。

2018年5月 WP5B 議長報告抜粋 (ITU-R勧告M.1849-1の改訂関係)

8.1.2.3 Revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 (Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars)

While Document 5B/485 proposed some amendments, Document 5B/515 proposes to conclude the revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 and send it to SG5 for approval.

It was indicated that before finalising the revision some further editorials may be proposed at the November 2018 meeting of the WP. It was therefore agreed to update the revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 as proposed in Document 5B/485 and to attached the preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 to this report.

The involved administrations agreed that they concur with the editorial edition to the document and that they would support the finalisation of the revision during the November 2018 meeting of WP 5B so that it could be sent to SG 5. The involved administration agreed further that major additions and/or modifications should be postponed until a future revision and the draft revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 is to be presented to SG 5 in November 2018.

(議長報告原文)